

令和8年度(令和7年度実績) 総合評価書 <施設名 多治見市モザイクタイルミュージアム>

1. 指定管理者名	一般財団法人たじみ・笠原タイル館
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)多治見市モザイクタイルミュージアムの事業の実施に關すること (2)多治見市モザイクタイルミュージアムの維持管理に關すること (3)観覧料、利用料金に關すること (4)運営対象者の利用に關すること (5)施設等の利用許可に關すること (6)その他の業務

採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	0	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。	105%以上 5点	R7年度入館者数 85,913人≪R6年度:83,768人、R5年度:80,555人、R4年度:86,745人≫ R7年度開館日数 309日≪R6年度:306日、R5年度:308日、R4年度:308日≫ 1日平均 278人/日≪R6年度:274人/日、R5年度:262人/日、R4年度:282人/日≫ ・体験工房利用者 29,927人≪R6:22,508人、R5年度:19,458人、R4年度:18,626人≫ ・入館者数は開館2年目(平成29年度)をピークに、コロナ禍の影響も相まって減少が続いてきた。しかし、R6年度からの誘客促進施策が功を奏し、R7年度も2年続けて増加傾向を維持(前年比約2,100人増)している。令和8年1月17日には累積入館者100万人を達成した。また、R7年3月から特別展示を併せた観覧料を900円としたこともあって、観覧料収入は前年比61.0%の増収となった。 ・同館の独創的な外観によるメディア効果(ニュースバリュー)は、開館当初に比べて現在は落ち着いた状況にある。今後の安定した入館者確保に向けては、単なるSNS映えに依存するステージから脱却し、コアなファン層のみならず一般観光客の興味を喚起するコンテンツ自体の魅力向上と、より幅広いターゲット層に訴求する汎用性(市場拡大)が不可欠である。したがって、今後もいっそう魅力的な展示事業の企画・開催に注力し、タイル専門博物館としての本質的な価値向上を図りつつ、リピーター層の定着化や、インバウンド需要の取込みなど、さらなるプロモーションの推進と展開が期待される。	10点		
			②利用人数	10	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点					上記(2)適用 平均値比(108%)=利用人数(日平均)278人【R7】 ÷ 256人【R6(274人)～R5(262人)～R4(282人)～R3(207人)】	
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		0	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点						
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		30	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・企画展を年間4本「青の眺望～タイルにみる青の世界～」(第2期)、「旅するタイル～先駆者の足跡～」,「山内逸三と藤井厚二～越竹屋で育まれたものたち～」,「タイルは語る～あの日の記憶・創造の力ケラー」を開催。また、これらに企画展に関わる様々な関連企画も実施。 ・体験工房の利用者は、代替会場の整備等により前年比132%増(R7:29,927人、R6:22,508人)。 ・その他、館外活動、他機関との協力、連携、収蔵資料に関する事業等を実施。タイル産業の振興に資する事業について若手の地元企業社長等が中心となってプロジェクト会議を実施。 ・大学とタイル業界との交流を目的とした産学連携事業で、愛知淑徳大学・杉山学園大学とのコラボ企画「モザミュータイルラボ・リレープロジェクト」を実施。学生によるクロストーク、業界関係者との交流会も行った。	期待以上 14点	・展示事業においては、通年の常設展示に加え、年4回のギャラリー特別展示が開催された。R7年度の特別展示については、企画の着眼点の良さが留まらず、そのネーミングや、鑑賞ガイドなど配布物のデザインにおいて、タイル初心者層へ訴求するための優れた工夫が見られた。反面、来館者アンケートの集計結果によると、常設展示に対する印象の高さと比較して、特別展示の印象は低く留まっている。今後は、さらに効果的なPRを展開することで特別展示の認知度を高め、展示事業全体に対する関心の底上げを図ってみたい。 ・体験工房(ワークショップ)の受入キャパシティについて、工房以外の代替会場を柔軟に活用する態勢を整備したことで、大人数や要配慮者の団体、土日等の繁忙期など、従来は受入困難であった需要の取込みを可能とした。これにより、利用者数が前年比約8,000人増と大幅に伸長し、収益も前年比35.3%の増収となった点は高く評価できる。一方、1階ショップの売上は来館者の購買行動に慎重さが見られ、前年比2.0%減に留まった。ショップ運営は、入館料収入やワークショップ収入とともに、同館の収益を支える重要要素の一つであり、来館者が思わず手に取りたくなるような、魅力的な売場づくりと商品展開の強化を望みたい。	28点		
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	適正に実施されている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点		
			②保守・点検		適正に実施されている。	適正(普通) 2点					
			③保安・警備		適正に実施されている。	適正(普通) 2点					
			④小規模修繕		タイルの剥がれ、水漏れ対応等、適正に実施されている。	適正(普通) 2点					
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		適正に実施されている。	適正(普通) 2点					
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	適正に実施されている。	適正(普通) 2点	文書はキャビネットやレターケースで適切に管理。	10点		
			②環境への配慮		適正に実施されている。	適正(普通) 2点	社内用の文書には、古封筒や裏紙を使用				
			③バリアフリー		適正に実施されている。	適正(普通) 2点	通路、展示室、工房の出入口など、車椅子等に十分対応できる広さが保たれており、また段差もない。				
			④備品管理		適正に実施されている。	適正(普通) 2点	管理者備品については、市とは別の台帳で管理されている。				
			⑤個人情報保護		適正に実施されている。	適正(普通) 2点	個人情報が含まれる書類等については、鍵のかかるキャビネットで保管し、パソコンでは、個人情報をパスワードをかけて共有フォルダで管理している。				
			⑥事故等への対応		0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故等に対し、適宜対応した。 シロアリ発生・業者により駆除(1件)、1階多目的トイレ表示故障・修理(1件)、2階トイレローカ付近異臭・空調機稼働で対処(1件)、誘導等回路漏電・修理(1件)、3階展示室モニターの異音・経過観察中(1件)、収蔵庫床面の白華現象・経過観察中(1件)、1階ポンプ室天井の水漏・換気扇稼働で対処(1件)、ポンプ室消防用水槽のアラーム・修理予定(1件)、階段エアコンのエラー表示・修理予定(1件)	事故なし・対応に不備なし 0点		事故等については適宜対応。市へも報告あり。	0点
3	当該施設の経営状況(5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点 ※指定管理者の収支報告書等から、適切に管理されていることを確認する	収入 129,248,334 ÷ 支出 106,324,113 = 121% ※収入のうち燃料費等価格価格高騰対策指定管理者緊急支援金1,333,733円	105%以上 5点	適切に経営されている。	5点		
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	アンケートなど指定管理者が行ったニーズ把握の結果等を記載する。	期待以上 8点	・前年度の課題であった来館者アンケートの有効回答率改善について、アンケート方法を工夫した結果、有効回答率が0.4%から12%に向上し、より正確な来館者情報の把握が行えるようになった。この情報を基に、職員間で情報を共有し、改善点を洗い出し、適切な対応を実施している。	8点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	・苦情に対し、適宜対応された。	苦情なし・適正(普通) 4点	とくに大きな苦情は無い。 ・ショップで販売した編織きットのパーツ(タイル1個)の不足(1件) → 不足パーツを送付。 ・1階サービススタッフの対応が良くなかったとの苦情(1件) → 接遇対応の徹底を周知。	4点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等マスコミの取材年間133件(前年127件、前々年112件) ・広報担当職員を配置し、ホームページやSNSによる情報発信を強化。	期待以上 12点	・R7年度から広報担当職員を採用して、ホームページやSNSを駆使したPRに力を入れるとともに、メディア取材に対しても丁寧な対応がなされている。年間のメディア掲載件数は、前々年から増加基調にあるものの大きな伸びはない。建物自体のニュースバリューが一段落した状況にあつては、展示事業の魅力発信をいっそう強化するとともに、新たな話題づくりに向けたプロモーション展開にも期待したい。	12点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(重程度):△3	適正に実施されている。	遅れ・不備なし 減点なし	期限内に適正に提出されている。	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	適正に実施されている。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 事業に関しては仕様書どおり良好に実施され、知名度、集客効果も十分図られている。	極めて良好	合計87点	

5. 来年度の管理運営(事業執行)に対する指示事項等、評価委員会において出された意見

--